

実習中のパソコン利用について

～附属学校において教育実習中に個人のノートパソコンを使用する場合～

1. ウィルス対策ソフトウェアについて

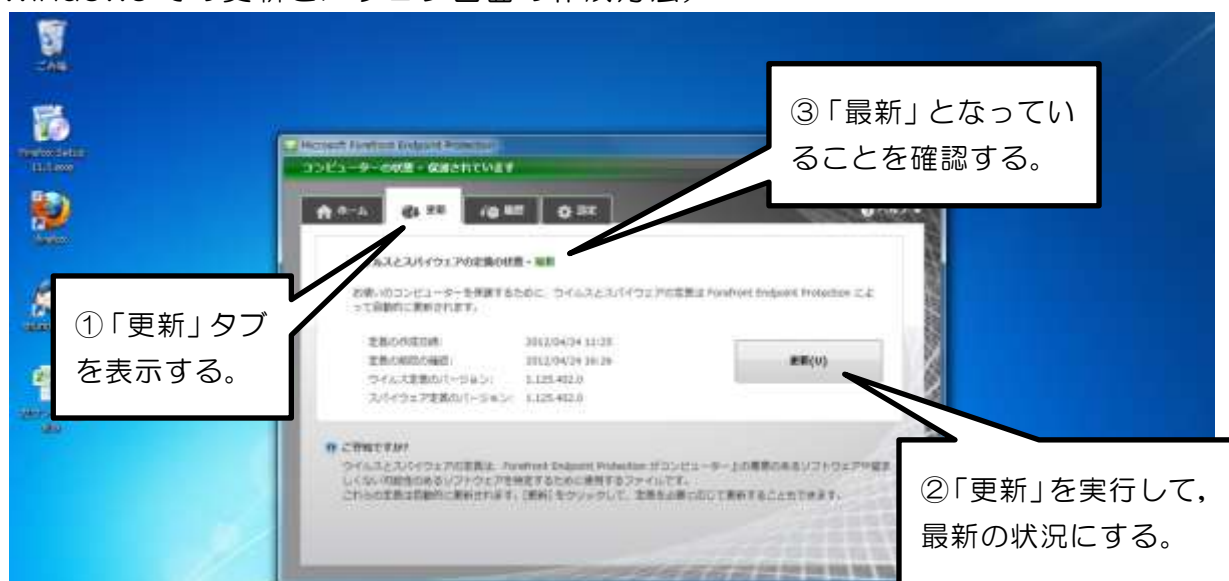
- 必ず、自分自身が所有するノートパソコンを利用してください。
- ウィルス対策ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。広島大学の契約により、無料で利用できるソフトウェアがあります。Windows 8.1/10では Defender を、それ以外の Windows では R2 SCEP を、Mac では R2 SCEP for Mac を利用することができます。詳しくは次のページ（学内限定）で確認して、必要に応じてソフトウェアをインストールしてください。（Windows 8.1/10 の場合、ウィルス対策機能 Defender は標準で搭載されていますので、それを利用してもかまいません。）（URL：https://mslicense.office.hiroshima-u.ac.jp/v_sw.html）
- ウィルス定義データベースを最新のものに更新した後、フルスキャン（コンピュータの検査）を実行して、ウィルスが検知されないことを確認してください。
- 持っている全ての USB メモリーについても、ウィルスが検知されないことを確認してください。

□以下の通り確認書類を提出してください。

更新して最新の状態にした後のコンピュータ画面（下図参照）をスクリーンショットして Word 等に貼り付け、余白部分に必要事項（所属学部・コース（学科）・学生番号・氏名・実習校・実習教科（科目））を明記の上、5月21日（金）までに、Bb9 の各実習の課題提出画面に提出する。提出の際は必ず PDF データにしてください。

※下図はマイクロソフト社製のウィルス対策ソフトウェアの画面例です。他社製品のウィルス対策ソフトウェア（ウィルスバスター、McAfee、ノートン等）の更新状態画面が不明なときは、各自で製品のホームページ等を確認・問合せをしてください。

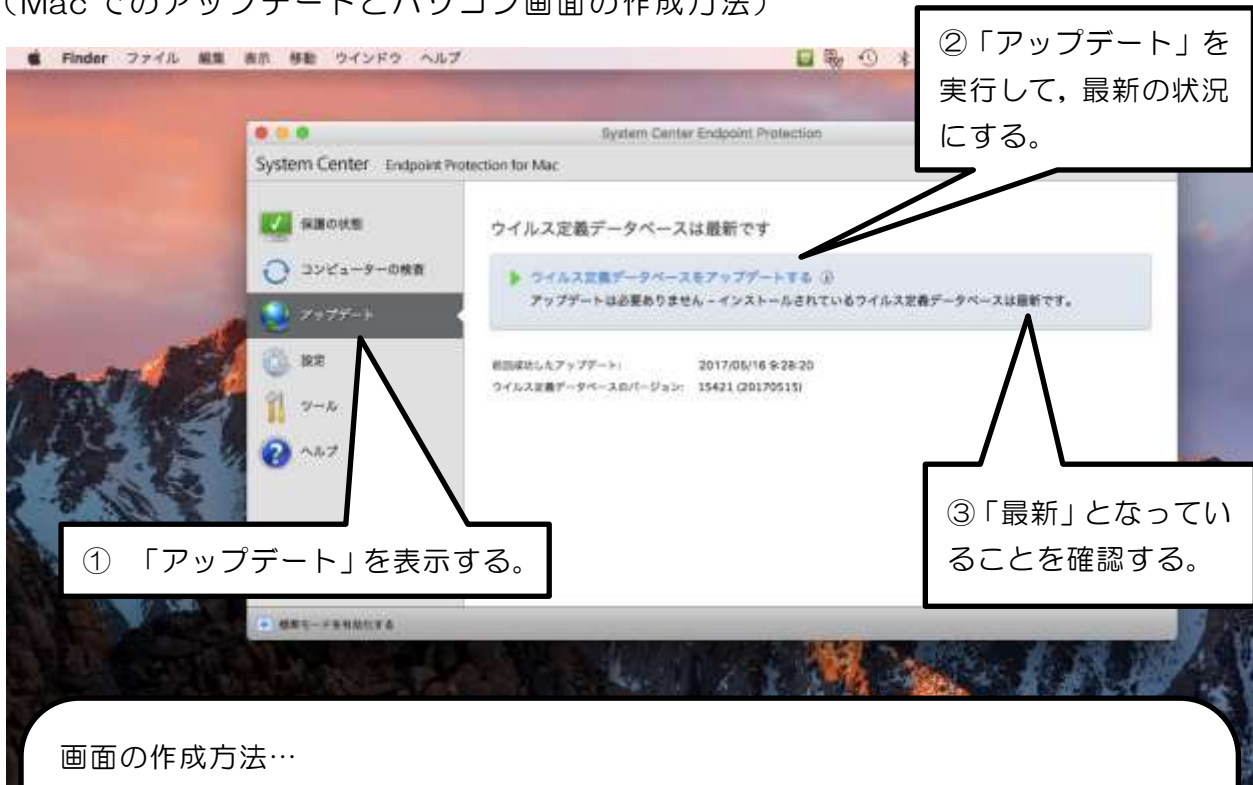
（Windows での更新とパソコン画面の作成方法）



画面の印刷方法…

1. 印刷したい画面を表示（SCEP 等の起動画面）して、キーボードの「Alt」+「Print Screen」キーを押す。（カーソルを置いている画面だけが保存される。）
2. Word または Excel ファイルを開き、右クリックをして「貼り付け」を選択する。

(Mac でのアップデートとパソコン画面の作成方法)



画面の作成方法…

1. Command と Shift と 4 を同時に押すと、マウスポインタが十字のカーソルになるので、ドラッグしてキャプチャ範囲を決めます。マウスのボタンを離すと、デスクトップ上にドラッグで選択した範囲がスクリーンショット画像としてファイルに保存されます。
2. Word または Excel ファイルを開き、保存されたファイルを「貼り付け」ます。

2.OS の更新について

- 必ず **OS を最新版に更新**してください。
- Windows の場合は **Windows Update** で更新を行うことができます。
- Mac の場合は **App Store の「アップデート」タブ**で更新を行うことができます。
- 実習期間中に更新があった場合も、速やかに最新版に更新してください。

3.アプリケーションの更新について

- 利用している**全てのアプリケーションについて、最新版に更新**してください。
- 特に Flash Player, Firefox, Thunderbird, Java 等頻繁に更新されるアプリケーションについては、必ず最新版かどうかを確認して必要に応じてインストールしてください。
- 実習期間中も定期的に最新版が公開されているかどうかを確認して、更新があった場合は速やかに最新版に更新してください。